

## CANNABIS／サンカレン

Cannabis は Sycotic レメディである。Plant であり“ドラッグ”レメディの中毒グループに属する。

他の Sycotic レメディと同様に自分が不十分であるというフィーリングを覆い隠そうとする。他の Plant レメディと同じく過敏である。また、孤独の感覚と他の“ドラッグ”レメディに共通する症状をも持つ。

自分の弱さを知っており、それは外部の世界の脅威や危険やリスクに直面するには実際不十分なものである。Cannabis の人はそういったものに直接面と向かい合う準備が自分にはまだできていないと感じており、それゆえに“ガラスの籠”という安全な牢獄から世の中を観察する。

Cannabis は家の中にいて鍵をかけている人である。それはただの家ではなく宮殿である。つまり物質的には非常に恵まれているけれどもひとりぼっちである。この家という牢獄の中ではあらゆる類の刺激が全面的に欠けている。しかし外出することを恐れる。それはリスクを伴うと感じるためである。そこで危険を恐れ家にじっと留まり、そうして欠けた刺激を補うために空想を作り上げ、現実のリアリティを遙かに飛び越えた形で物事を視る一知覚が誇張されている。

色のはるかに鮮やかにみえ、音がずっと心地よく聞こえ、距離感が拡大され、人生が極端に平和的で美しいものとなる。私が診た患者の一人は、自分が巨大な宮殿のような家に独りいて窓の外をみているという夢をみた。外には美しい庭園があり、青いドレスを着た非常に美しい女性が歩いていた。夢全体の中で彼に最も印象深かったのは彼女が着ていたドレスの青色であった。“青色の陰影に最も魅きつけられた”と彼は述べた。彼は実際に Cannabis indica で非常によかった。この夢からわかるのは、刺激的なものを探すのに窓の外をみており、そういったものの源は家の外に存在しているということである(なぜなら、家に外に出て行くことを恐れてるからである)。また、なにかを受け取って得た感じとか知覚が全て非常に強まっている。

しかしこれらの楽しい空想の背後には恐れが存在する。Cannabis indica は自分のガラスの家から決して外の世界に出ていこうとはしない。それゆえに、外部の世界は特に高まった感受性と知覚を有している Cannabis には過酷なものとなるために、外部に出て行くことは非常に恐ろしいこととなる。脅かす危険なことに対する恐怖がある。

外側は彼を脅かし、内側はうんざりさせる。ゆえに、自分を刺激し続けるために家の中で大麻を摂取することになる。

大麻は社会的なドラッグである。言い換えると、グループで使用される。大麻を吸うと、人が感じるあらゆる孤独感が取り除かれる。ヒッピーのドラッグである一彼らは物質的には恵まれているが孤独であり見捨てられうんざりしている。グループを形成し、音楽や花や明るい色(通常、非常に明るい色の服を着る)、自然などに刺激を求める。

ゴータマブッダのお話は Cannabis indica のお話である。彼は王子であり、宮殿から外に出ることを許されなかった。すぐに彼は宮殿内の倦怠に打ち負かされ、王国の戦闘馬車に乗り外出し、

はじめに病人、ついで老人、最後に死人をみた。この外界のあまりの残酷さと過酷さをみてとった。普通の人以上の多大な感受性でもって自分が見たものを受け取り、そしてそれを take する(自分のものとする)ことができなかった。

私が指揮して Cannabis のブルーヴィングの行ったカリフォルニアという所は、マリファナが非常にありふれたドラッグとなっているところである。ハリウッドがあり、いくつかのテレビプログラムとサンタバーバラのようなソープオペラの基地がある。実際、まさしくテレビとか映画といったもののテーマは危険なしの過剰な刺激である。テレビを見ることで、家という安全な境界内の中にいていかなる危険もなく刺激を得ることができる。そして全てが一危険と同様に美も一映画やテレビ番組の中では誇張されている。興味深いことに、テレビもまた中毒的な習慣を起こす。私はテレビのテーマと Cannabis indica のテーマはどこかしら似ているのではないかと思っている。

当惑の夢や成功しない努力の夢が Cannabis sativa にみられるが Cannabis indica にはみられない。これは Cannabis indica より Cannabis sativa の方が成功や失敗といったことがより重要であるということを示している。

Opium 阿片を使用した場合と違って Cannabis の使用は犯罪行為とは考えられてない。

#### ルブリクス

- 一Delusion, deserted, forsaken: 打ち捨てられた、見捨てられた、という妄想。
- 一Delusion, is leading a vegetable existence: つまらない存在になっていくという妄想
- 一Delusion, injury, is about to receive: 今にも怪我をするという妄想。
- 一Delusion, beautiful visions: 美しいビジョンの妄想。
- 一Fear, dark: 暗闇を恐れる。
- 一Laughing, immoderate: 度を越えた笑い。
- 一Laughing, constant: いつも笑う。
- 一Theorizing: 理論化する。